

異常な行動が記録されている事例

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-00913386	不明	■歳	150 mg	なし	易興奮性	軽快	インフルエンザ治療にリン酸オセルタミビル服用開始。母親から医師への連絡では、服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが嫌いで、以前にも他剤で夜中に暴れたことがあった。本剤投与中止し興奮軽快。
2	B-02901480	男	■歳	75 mg	トシル酸トスフロキサシン ザルトプロフェン	妄想 幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与。投与1時間後(夜間)に幻覚・妄想が出現。その後、回復したが、翌朝の服用(2時間)後に再び幻覚・妄想が出現し、包丁を持ち出す。来院後、投与を中止。症状は回復。併用薬の投与量・時点は不明。
3	B-02901634	男	■歳	25 mg	アミノフィリン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール オキサトミド プラナルカスト水和物 エリスロマイシン コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム	興奮	回復	気管支炎のため入院、酸素 Tent 収容。朝よりやや興奮傾向あり。インフルエンザ予防のため、夕方から本剤を投与。本剤投与後、一日中声を出して騒ぐ状態であった。本剤服用5日目、投与中止。翌日興奮回復しその翌日退院となる。
4	B-02902847	男	■歳	75 mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル 75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。
5	B-02913397	女	7■歳	150 mg	硝酸イソソルビド バルサルタン オメプラゾール 酸化マグネシウム トリアゾラム センノシドA、B センノシド 塩酸パロキセチン水和物 マレイン酸レボメプロマジン	妄想 落ち着きのなさ	軽快	被害妄想顕性化のため入院加療、抑うつ神経症の診断あり。インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル 150mg/日5日分を処方。投与3日目未明、意味不明語、妄想、不穏、徘徊あり。他剤投薬により少しずつ精神状態安定化。本剤継続。本剤5日間の投与終了後、3日目に症状軽快し、経過観察中。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-02914446	女	■歳	36 mg	セフポドキシムプロキセチル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフポドキシムプロキセチルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を処方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとほろ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。医師は、本剤を中止したのみで症状が回復しているため、因果関係ありと考察。
7	B-03008735	女	8■歳	150 mg	乳酸リンゲル液 医療用酸素	全健忘	回復	上咽頭粘膜のインフルエンザA抗原陽性と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3日目まで有害事象発現せず。最終投与後未明に失見当識及び病棟内徘徊(但しミオクロームスはなし)。翌朝も記憶力低下が観察される。患者家族と相談の結果退院後、処置なしで回復。但し、有害事象継続中の記憶は欠如のまま。
8	B-03009902	男	1■歳	150 mg	dl-マレイン酸クロルフェニラミン カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポピドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。
9	B-03010203	男	1■歳	150 mg		妄想	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
10	B-03011945	男	1歳	150 mg	非ピリン系感冒剤	異常行動	回復	診断キット(一)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。
11	B-03900831	女	3歳	150 mg	アセトアミノフェン 安息香酸ナトリウムカフェイン 開始液 セフポドキシムプロキセチル 塩化リゾチーム dl-マレイン酸クロルフェニラミン サリチル酸ナトリウム 鎮咳剤 アスコルビン酸・L-システイン カルボシステイン	不安 知覚過敏	回復	発熱(38~39℃)、頭痛、関節痛、咽頭痛、咽頭発赤、不穏状態にて本剤投与開始。 翌日の夜中、不眠、不安発現。服用中止。 翌日、幻覚発現し、来院。その後も興奮状態続き、知覚過敏が発現。 その2日後、不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消失。 その5日後、回復
12	B-03900982	男	1歳	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトルフアン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20~21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。
13	B-03901038	女	1歳	150 mg	塩酸チアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。
14	B-03901089	男	2歳	75 mg	クラリスロマイシン セラペプターゼ 消化酵素 耐性乳酸菌	気分変動	回復	発熱、咳、咽頭痛等有り受診、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与10分後、気分変動有り、何をするか分からない(例えば刃物を振り回すかもしれない)感じがした。玄関の辺りでドアを蹴飛ばしたりした後、倒れていたため、救急搬送される。病院にて処置を受けた後帰宅。その後、症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-03905859	男	■歳	150 mg	塩酸セフカベンピポキシル セラペプターゼ フェジゾ酸クロペラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。
16	B-03933860	女	■歳	60 mg	テオフィリン 塩酸プロカテロール 塩酸ブロムヘキシシ ツブテロール オウヒエキス	失見当識	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビルを投与開始(投与期間不明)。投与後、少しボーッとした感じあり。その日の夜より落ち着きなく動き回る。呼んでも返事なし。焦点も定まらない。検査を行ったところ、テオフィリンの血中濃度がやや高値をしめすもEEG、MRI、髄液検査に異常なし。投与開始8日後、症状回復し退院。
17	B-04007197	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	幻覚 下肢骨折	不明	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。
18	B-04008399	男	1■歳	75 mg	塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシソール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン	異常行動	死亡	塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方(併用薬は継続)。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を跳び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。
19	B-04008522	男	1■歳	75 mg	ジプロフィリン・メトキシフェナミン 配合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。
20	B-04008530	男	■歳	78 mg	塩酸ブロムヘキシシ ヒベンズ酸チペピジン 酒石酸アリメマジン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル78mg/日他を処方。2回服用後、夜から翌明け方にかけて40℃の高熱が続く。明け方、異常な発言があり、興奮して家の中を走り回り、譫妄状態に陥った。同日も本剤を服用。同日、譫妄回復。その後も2日間服用し、母親が投与中止。その後譫妄状態はおきなかった。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B-04009035	男	1■歳	150 mg	セフトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。
22	B-04027261	女	9■歳	150 mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシナトリウム 硝酸イソソルビド アロプリノール 酸化マグネシウム センノシド フロセミド メナテトレノン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与(投与開始翌日より入院投与)。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつじつまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。
23	B-05000151	男	■歳	不明	セフトラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。
24	B-05000677	男	■歳	84 mg		意識レベルの低下(意識障害) 異常行動(行動異常)	回復	前日來の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
25	B-05000689	女	■歳	39 mg	セフトレキシム アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン ジアゼパム	易興奮性(興奮状態)	軽快	4日前から発熱し、感冒薬を投与するも解熱せず受診。確定検査でインフルエンザAと診断。急性肺炎を危惧し、感染予防薬と共にリン酸オセルタミビルを投与。2回投与後に解熱するが、興奮状態で泣きわめく。翌朝本剤内服後歩行ふらつき状態。午後目覚めてから号泣、異常な興奮状態。ジアゼパム投与し、本剤の投与を中止した。2日後に軽快、睡眠良好。
26	B-05000692	男	7■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	痙攣(痙攣) 意識レベルの低下(意識障害)	回復	38°Cの発熱と咳嗽により受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを4日間投与。突然大きなびきと共に暴れ出す。意識障害と痙攣、全身間代性発作発現。7分後発作消失。意識は約1日半後清明となる。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。
27	B-05000875	男	7■歳	150 mg	エスタゾラム トリアゾラム 酒石酸ゾルピデム プロムフレリル尿素 エチゾラム ジアゼパム ワルファリンカリウム 塩酸チクロピジン 塩酸メトホルミン マレイン酸トリメブチン シルニジピン	譫妄(せん妄)	回復	脳梗塞、胃癌、不眠症、糖尿病、高血圧の既往症。39°Cの発熱があり受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。当日解熱したが、夕食後本剤を服用、同時に常用薬の眠剤も服用。その後せん妄が発現。部屋を引っかき回したように荒らしている。翌朝にはせん妄は回復。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示したところ発現せず。
28	B-05001829	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン	譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣)	後遺症	高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。
29	B-05001832	男	1■歳	150 mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38°C。翌日朝、受診。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
30	B-05002487	男	1歳	75 mg		意識レベルの低下	死亡	発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。
31	B-05017753	女	1歳	150 mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム	譫妄(せん妄)	回復	咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用するも改善されず受診。インフルエンザ予防目的にて本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着きがなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。
32	B-05018854	男	■歳	112 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動(精神症状(異常行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出していこうとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が過落ち着いたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。
33	B-05020017	男	5歳	150 mg		精神症状(精神症状)	回復	インフルエンザ治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用4日目、夜分服用し2時間後に精神症状発現。突然うつ状態になり、自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられる。翌日、精神症状回復したが、本剤服用を自発的に中止。
34	B-05020834	女	■歳	不明 (4mg/kg/日)		幻覚(幻覚) 異常行動(異常行動)	回復	リン酸オセルタミビル4mg/kg/日処方。夕投与1時間後にドアノブを強く回し続ける異常行動、幻覚発生。救急車搬送入院。翌日回復。
35	B-05021030	男	1歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン	易興奮性(興奮(異常行動))	回復	インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していくが、しばらくして帰宅(本人は覚えている)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。
36	B-05021111	男	1歳	150 mg	アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジノン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	妄想(妄想)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	B-05021185	女	■歳	84 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40°C)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40°C発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。
38	B-05021659	男	■歳	102 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタT-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。救急車にて来院し入院となる。入院時、意識ほぼ清明。翌日、解熱する。本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。
39	B-05021887	男	■歳	60 mg	セフテラムピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤	激越 幻覚	回復	小児科受診時、トミロン、アズベリン、ペリアクチン、ムコダイン、エンテロノン-R処方。夕刻、発熱(39.0°C)のため来院、脱水症状あり。発症時所見で発熱(38.3°C)、意識障害あり。本剤服用後、幻覚、興奮状態発現(異常な発言あり、暴れ出す)。救急車にて来院、すぐにおとなしくなり、けいれんも発現なし。神経学的異常なし。その後、幻覚、興奮状態発現なしのまま本剤投与終了。
40	B-05022154	男	1■歳	75 mg	ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン クラリスロマイシン パファリンA	激越 落ち着きのなさ	回復	高熱(40.2°C)のため、受診。咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38°Cに解熱。その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。突然覚醒し、興奮状態(大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど殴る:3~4分間)となり、両手甲部に外裂傷。3時間半後、体温39°Cになり、精神状態も落ち着く。翌日、体温37°C、不穏状態、興奮状態は回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
41	B-05022379	男	■歳	20 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 低体温	回復	本剤2回投与後に低体温発現。 その後、異常行動発現(急に走り出して変な姿勢で止まる)し、入院となり経過観察となる。 入院中に異常行動なし。 翌日、低体温回復し、退院。異常行動も回復。
42	B-05022380	男	■歳	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。 本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。 入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。 翌日、自分で点滴抜去、病棟内を一人でうろつく。 脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。 3日後、異常言動軽快退院
43	B-05022381	男	1■歳	75 mg	ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配 合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メトクロプラミド	錯乱状態 落ち着きのなさ	回復	発熱(38°C)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不 穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マン ションの9階))。 ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でお さえなければならぬほどの力で暴れた。 服用中止し、錯乱、不穏回復。
44	B-05022780	男	■歳	46.5 mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。 体温39.6°C、2回目服用後、就寝するが、激越発現(急に 大声でわめきながらおきる)。その後翌日正午まで、異常 行動(異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗リピョ ンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。)継続する。 起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用 中止する。その後2日間は16~18時間の睡眠をする
45	B-05023219	男	2■歳	150 mg	不明	躁病	軽快	躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4°C)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻 39.7°C内服開始。 翌朝36°C台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れな かった(躁状態)。本剤の服用が終了しても、躁状態継続 し、歩き回り、入院となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B-05023443	男	■歳	46.5 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸プロモヘキシ ン 塩酸シプロヘプタジ ン	精神症状	回復	発熱(39.5℃)、咳、鼻症状にてアズペリン、ピソルボン、ペリアクチン、本剤を処方。 本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛ぶ動作等)、尿失禁発現。 翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復
47	B-05023468	男	1■歳	105 mg		異常行動	軽快	発熱(38.7℃)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。 入院後は異常言動出現なし。 翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。
48	B-05023592	男	■歳	100 mg	アセトアミノフェン	譫妄 失見当識	回復	頭痛、咳、鼻症状があり、インフルエンザ陰性であったが、本剤処方。 3回服用後、就寝中に突然起き上がり、せん妄、見当識障害発現(異常な発言をしつつ徘徊、急に笑ったり、物を数える)。 その後入院し、輸液経過観察。せん妄以外は意識清明で発熱、感冒症状は呈していた。 翌日、就寝中に見当識障害(意味不明なことを言い笑う)を起こすが、その後せん妄、見当識障害回復
49	B-05023595	男	1■歳	60 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭痛発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。 本剤投与後、幻覚症状(怖がって逃げる)、異常行動(異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く)発現。 1時間後、改善
50	B-05023597	男	■歳	60 mg		異常行動	回復	咳嗽、咽頭痛、眼痛、発熱(38.6℃)出現し、その後体温40℃となり、異常な発言をする。頭痛、腹痛も出現。 翌朝、姉に処方されていた本剤を服用(発熱継続)。 夕刻、再度服用その後、異常行動発現奇声を発し怖い目をして呼び出し、勢いよく外へ飛び出した)し、救急外来を受診。 受診時意識清明。入院の上点滴のみで経過観察を行うが特にかわりなく2日後退院。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
51	B-05023672	男	1■歳	60 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39°C)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で走り出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼーっとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過 翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。
52	B-05023789	女	■歳	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘブタジン カルボシステイン 塩酸セフカペンピボキシル アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	高熱のためリン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘブタジン及びカルボシステインを服用数時間後、意味不明な言葉を話して部屋から走って出てくる。異常行動としてはいかいも見られた。次の日に再度リン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘブタジン及びカルボシステインを服用するも、直後に嘔吐する。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、6日後に幻覚症状やはいかから回復する。
53	B-05023790	男	1■歳	66 mg		異常行動 意識レベルの低下 外傷性骨折	回復 回復 不回復	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日目も夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。
54	B-05023978	男	■歳	60 mg	麻黄湯	異常行動	回復	インフルエンザの診断を受けてリン酸オセルタミビルを服用。約6時間後に急にびっくりして怖がる様子で叫びだして外に走り出そうとしたり、台所に隠れようとする異常行動が発現し、緊急外来にて経過観察。その後、異常行動は回復。
55	B-05024102	男	1■歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2°C)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
56	B-05024268		7■歳	150 mg		異常行動 大腿骨骨折	未回復 未回復	A型インフルエンザで発熱(39.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始当日に異常行動が発現した。投与開始から3日目にインフルエンザが軽快し、リン酸オセルタミビルの投与が終了した。投与終了後から2日目に2階より飛び降りて大腿骨を骨折した。
57	B-05024270	女	1■歳	114 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。 アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。
58	B-05024386	男	5■歳	150 mg	アミノフィリン リン酸ベタメタゾンナトリウム フロモキシセフナトリウム 維持液(3) プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン 塩酸フェキソフェナジン ファミデジン	意識レベルの低下 呼吸困難	回復 回復	A型インフルエンザの確定診断を受け、リン酸オセルタミビルを投与開始初日の夕方と就寝前に服用。投与開始から2日目の午前5時に呼吸苦が発現し、暴れ出した。また、意識障害が発現した。呼吸苦は発現当日に回復し、意識障害は発現翌日に回復した。
59	B-05024606	男	1■歳	108 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。
60	B-05024748	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方に服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
61	B-05024835	男	■歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じがあり、押さえつけるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。
62	B-05024837	男	■歳	99 mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。
63	B-05024838	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。
64	B-05024865	男	8■歳	150 mg	アスピリン 酒石酸イフェンプロジル 塩酸タムスロシン ヒトインスリン(遺伝子組換え) 非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメトルファン スパルフロキサシン ジクロフェナクナトリウム	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快・回復した。投与開始から3日後にせん妄(窓を開けて外へ出るなど)が発現し、せん妄発現から3日目の朝にせん妄から回復した。
65	B-05024963	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識レベルの低下 異常行動 悪心(嘔気)	回復 回復	A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできることができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いており、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-05024964	女	■歳	30 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキソール ツロブテロール	譫妄	回復	A型インフルエンザに対し発症の翌日よりリン酸オセルタミビル服用開始(38°C)。服用2時間後より譫妄状態(突然起きあがる、目つきがおかしい、異常な発言、毛布をくわえる等)が8時間ほど続き、朝4時頃就眠。その後6時に覚醒、意識は清明で発熱(39°C台)はあったが譫妄はその後出現せず。インフルエンザ発症12日後インフルエンザ軽快。
67	B-05025213	女	1■歳	150 mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5°C)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。
68	B-05025437	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1°C)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7°C)外来受診し本剤中止、異常行動回復。
69	B-05025476	男	1■歳	150 mg		痙攣 意識レベルの低下 異常行動	未回復 未回復 未回復	インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明)
70	B-05025582	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シヤゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39°C以上)。翌朝解熱(36.7°C)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。
71	B-05025583	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シヤゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5°C)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいカバンを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。

No	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
72	B-05025584	女	■歳	54 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1°C)。昼前1回服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。
73	B-05025585	男	■歳	120 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始。1回目の服用後異常行動(見えるはずのないものが見えるという)発現。2回目の服用後異常行動(訳のわからない言動、部屋を駆け回る等)発現。その夜に来院し入院、本剤服用を中止。翌日異常行動軽快。その後、異常行動は発現せず。
74	B-05025587	女	9■歳	150 mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサトミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6°C)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる(確定診断は行っていない)。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状(大声で幻覚症状を訴える)発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動(外へ出て座っている等)は回復。
75	B-05025720	男	■歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回日本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを掴もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言動軽快退院。
76	B-05025721	男	■歳	102 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始(39.5°C)。初回服用5時間後トイレに起きた時に異常行動(トイレに起き部屋で排尿、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり)発現し、約1時間続いた。その後本剤2回目服用するが異常行動は認められていない。翌朝解熱し本剤服用中止。いつもよりボーっとし寝てばかりいるため、夕方経過観察のため入院。点滴後元気が出てきてインフルエンザ軽快、異常行動軽快。翌日、全身状態良好にて退院。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
77	B-05025722	男	■歳	160.2 mg	セフジニル 塩酸シプロヘパタジン 解熱剤(不明)	異常行動	軽快	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(40°C)。併用薬と本剤初回服用1時間後異常行動発現(急に立ち上がりケタケタ笑う、トイレにこもり大きな音をたてる)後、一旦入眠。異常行動発現1時間後、話しかけに無反応、目線があわない等あり。夜中受診し入院となる(39.4°C)。入院時意識清明、異常言動なし。入院翌日以降異常言動なし。脳波、左後頭部に徐脈。MRI左側頭葉に高信号。入院5日後異常言動軽快退院。
78	B-05025723	男	1■歳	150 mg		健忘 激越 異常行動 錯乱状態	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマタジン投与。その際は高熱(39.1°C)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。)
79	B-05025724	男	5■歳	75 mg	アセトアミノフェン アミノ酸・糖・電解質(2-3)	精神症状 自殺既遂	不明 死亡	肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。経過は良好であったが入院7日目に院内でA型インフルエンザに感染。18時頃、両下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的な不安を訴えていた。19時頃に本剤服用開始(体温39.2°Cありアセトアミノフェンを本剤とともに服用)。22時の体温は37.3°C。翌朝5時に生存を確認。6時30分病床不在確認、7時39分飛び降りて死亡しているのが発見された。自室のノートに遺書有り。
80	B-05026722	女	■歳	54 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始日の夜に40°Cの発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。この後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5°C前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5°C)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
81	B-06000186	男	■歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型発症、本剤5日間内服する。内服中、幻聴が続いている。その約2ヶ月後、発熱を認め、B型インフルエンザの疑いがあることから、リン酸オセルタミビルと抗生物質の服用を開始。39°C代の発熱が見られたことから、アセトアミノフェン坐剤を投与。リン酸オセルタミビルの投与開始日の夜に異常行動(突然起きて異常な発言をし、母親の足跡の間に自分の指を入れたり、制止がきかない程暴れる)が発現し、翌日の朝にかけて異常行動(入眠中突然起きて異常な発言)が見られた。その後、異常行動は見られず、回復した。
82	B-06001533	男	■歳	60 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に午前中分のリン酸オセルタミビルを服用した約1時間後に意識障害(奇声を発死、頭を壁へぶつけるなど)が発現し、約5時間持続した。その後、意識障害は回復し、再燃しなかった。
83	B-06001534	男	7■歳	150 mg	塩酸ブラゾシン メチルドパ ロラタジン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸セトラキサート 鎮咳配合剤(1) セネガ	平衡障害 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(38.0°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約2時間後に平衡機能障害が発現し、約5時間後に回復した。初回服用から約5時間後にリン酸オセルタミビルを服用し、約2時間後に異常行動(田植えをしている動作)が発現し、約24時間後に回復した。
84	B-06005344	女	1■歳	150 mg	酒石酸ソルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤(4)	自傷行動	回復	インフルエンザ(診断確定未実施)治療のためにリン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快している。
85	B-06006859	女	■歳	35 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ツロブテロール	せん妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。初回服用開始後、せん妄及び異常行動が発現し、回復した。服用開始から2日目及び3日目もリン酸オセルタミビル服用後にせん妄及び異常行動(落ち着きなく動き回る等)が発現し、回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
86	B-06010806	男	1歳	114 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル の服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が 発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の 夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回 復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日 目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られな かった。
87	B-06012472	女	1歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、 リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始 から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ) が発現し、入院することになった。リン酸オセル タミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの 服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見 られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6 日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も 回復した。
88	B-06016893	男	8歳	150 mg	テオフィリン コハク酸メチルプレドニゾンナ トリウム アミノフィリン 維持液(17)	譫妄	回復	慢性腎不全、洞不全症候群、脳梗塞の治療継続中。 ペースメーカー留置。発熱、呼吸苦、低酸素血症、 炎症反応によりインフルエンザ確定診断を実施。 入院後、点滴(コハク酸メチルプレドニゾンナト リウム、アミノフィリン)及びリン酸オセルタミ ビルを投与開始。2日目、落ち着きがなくなると 興奮気味、せん妄発現、点滴投与中止。3日目夕 方よりリン酸オセルタミビル投与中止後、ハロペ リドール投与(3日間)。4日目せん妄回復。以降 症状なし。
89	B-06017551	女	7歳	150 mg	アミノフィリン アジスロマイシン水和物 モンテルカストナトリウム プロチゾラム 塩酸クレンブテロール ファモチジン チアマゾール フドステイン プレドニゾン アセトアミノフェン	譫妄	回復	喘息、甲状腺腫の既往歴あり。気管支喘息のため 入院後、アミノフィリン、プレドニゾン投与後、 アジスロマイシン水和物を処方。発熱があり、 インフルエンザAによりリン酸オセルタミビルの 投与開始。4日後夜、失禁、夜間せん妄発現。 翌日朝以降症状なし。5日後まで投与継続、 インフルエンザ回復。
90	B-06022861	男	2歳	150 mg	なし	異常行動 過換気	軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセル タミビル投与。当日、異常行動、過換気発現。 投与中止により翌日軽快。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
91	B-06022963	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思い込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。
92	B-06024212	男	1■歳	150 mg	なし	錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル投与開始後、2日目に錯乱発現、投与中止。翌日、錯乱回復。
93	B-06024227	男	1■歳	150 mg	レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン	嗜眠 異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。視線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見て正常に戻ったと評価している。
94	B-06024378	男	1■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンブロキシロール ヒベンズ酸チペピジン テプレノン	異常行動 自殺企図	軽快	B型インフルエンザと診断。体温39℃。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。
95	B-06024435	女	2■歳	150 mg	なし	多幸気分 不眠症 口渇	不明	リン酸オセルタミビル2日間投与。5日後、高揚感、口渇、不眠が発現。その3日後、ベッドで暴れ、口渇を訴えている。
96	B-06024534	男	1■歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン α-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。2日目午前に服用後、夕方、母親が目を離した間に、2Fベランダから飛び降りた。
97	B-06024795	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	死亡	インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9℃)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。

No	識別番号	性	年齢	1日 用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
98	B-06024909		1■歳台	不明	mg		自殺企図	回復 本剤投与開始後、自殺企図発現。 外を走り回っているところ見つけられ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり自分の部屋から飛び降りる。
99	B-06024911	男	■歳	150	mg	アセトアミノフェン	激越	軽快 本剤4回投与後、あばれる、走り回る、奇声を発するなどの興奮状態発現。 翌日、症状軽快
100	B-06024935	男	1■歳	60	mg		異常行動	回復 本剤投与開始の翌朝突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。 押さえ込んでしばらくした後、意識が戻る。 本剤の服用は1回で、その後中止。正常に。
101	B-06025002	男	5■歳	150	mg		異常行動	未回復 本剤投与開始後、異常行動発現。 本剤投与中止、異常行動は5日後時点で未回復
102	B-06025006	男	1■歳	不明	mg		異常行動	回復 本剤投与後、異常行動(階段から飛び降りようとし、クローゼットの中に座り込む等)が10分程出現。 救急車で来院、来院時には軽快。
103	B-06025041	男	1■歳	150	mg		傾眠 失見当識 異常行動	軽快 投与開始3日後、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察の為、入院。 投与終了4日後、症状改善し、退院。 退院4日後まで、見当識障害あり。 翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。
104	B-06025100	男	1■歳	30	mg		異常行動	回復 発熱(39℃)、頭痛があり、インフルエンザ陽性のため、本剤投与。 1回目内服後、起きあがろうとしたり、意味不明な話をしてくる。 その後、本剤処方せず、リレンザ服用。 現在は回復し、通学。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
105	B-06025101	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。屋間は問題なし。 その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。 就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。
106	B-06025118	男	6■歳	150 mg		異常行動 自殺既遂	不明 死亡	既往歴にうつ病があり。 本剤投与開始後、異常行動、精神・神経症状発現。 本剤投与中止後、透析5回実施。 投与中止10日後、自殺。 ※自殺目的で放火したものの、死んでいないことが判明
107	B-06025119	男	8■歳	150 mg		異常行動	回復	服用開始3日後、異常行動(除草剤を飲む)発現。 同日入院、回復。
108	B-06025190	男	1■歳	75 mg		幻聴 異常行動	回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。 翌日の午後、異常行動、幻聴発言し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った)。 夜、服用中止。家族がつきそう。 2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。 幻覚、異常行動、幻聴回復
109	B-06025191	男	1■歳	150 mg		譫妄	回復	過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
110	B-06025192	男	3■歳	75 mg	葛根湯 ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	本剤服薬4時間後に錯乱状態となり、自宅2階から飛び降り、足を骨折。 骨折のため、他院を受診、その際意識もはっきりしており、体温も36℃台であった。 4日後、整形外科で手術。 入院中、意識レベル正常、異常行動回復。
111	B-06025200	女	■歳	不明	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	回復	インフルエンザのため、本剤投与開始。 朝は嘔吐してしまったため、その日の夜に服用、その夜から異常行動(わけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった)が続く。 2日後、異常行動回復
112	B-06025315	男	1■歳	75 mg	テオフィリン アセトアミノフェン プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	回復	発熱を伴う風邪症状で本剤、カロナールを処方。 その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現(叫びながらベランダに向かって歩き出す)。 再度受診し、服用を中止。 その後、異常行動なし。
113	B-06025316	男	2■歳	75 mg		自殺企図	回復	本剤服用後、異常行動(自殺企図:マンションの渡り廊下に登ろうとする。何かにおびえた様子で「死んでから謝ろうと思った」と発言)発現。 落ち着いてから話をすると自分のとった行動に記憶があり、当時不安になるような心当たりはまったくないとの由。
114	B-06025337	女	■歳	不明		異常行動	回復	夕刻、本剤服用。 5時間後、異常行動(急に起きあがり、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太腿を必要以上にさすっていた)発現。 心配になった両親が救急車を呼び、入院。 翌日、解熱し退院。
115	B-06025418	女	■歳	35 mg		激越 異常行動	回復	本剤投与開始後、異常行動、興奮状態発現。 翌日、異常行動、興奮状態回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-06025419	女	4■歳	75 mg		自傷行動	不明	本剤1capを服用後、自己判断で中止。 4日後、熱が下がらないため、再度1cap服用。 5~6時間後、自室にてタオルを首に巻き付けた状態で意識を失っているところを家族に発見され、入院する。 入院し、意識は回復。
117	B-06025421	男	■歳	不明		異常行動	回復	2年前にも本剤服用しているが、問題なし。 本剤服用2時後、異常行動発現(叫び暴れだした)。 入院後、水分補給の目的で点滴実施、リレンザ処方したところ、解熱。 翌日、回復退院。
118	B-06025425	男	1■歳	75 mg	クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンプロキシール アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	発熱(37.2°C)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。
119	B-06025518	女	■歳	不明		異常行動 幻覚	回復	インフルエンザ症状により外来受診。 診断キットの結果は陰性であったが、症状より判断して本剤を処方。 昼食後、服用し、数時間後異常行動発現(幻覚、父親を認識できない、部屋を飛びだそうとする)。 異常行動は、数時間のうちにおさまる。 翌日、解熱し、診断キットで再検査したが陰性であった。
120	B-06025576	女	1■歳	150 mg		異常行動	回復	本剤処方の昼食時に服用。 その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。 約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5°C) 翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
121	B-06025685	男	1■歳	75 mg		異常行動	回復	発熱(38.5°C)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。 その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排尿し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。 母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2°C)。 入院後、補液管理となり(体温:38.8°C)、その日の夕刻、異常行動回復。
122	B-06024434	女	1■歳	75 mg		転倒	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。
123	B02-12377	男	1■歳	150 mg		低体温	回復	インフルエンザ確定診断後、本剤投与。 本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親がおさえた。体温:34~35°C。 同日、再度服用したところ、幻視、低体温、暴れるなどの症状出現し、再び両親におさえられて治まった。その後、本剤は中止とした。 翌日、低体温は継続。 投与中止3日後、幻視、低体温回復
124	B-06004486	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤 アスピリン ヒベンズ酸チペピジン リン酸ジメモルファン プラプロフェン 塩酸セトラキサート	死亡	死亡	期外収縮及び心房細動の患者。発熱、咳、鼻症状、関節痛及び倦怠感があり、インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビルを服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目の夜、家人に気づかれないまま車で外出。自宅より30km離れた海の岸壁で車が発見され、人が海に落ちた形跡あり。約2ヶ月後、海中より死亡した本人が発見された。
125	B-06007798	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡	死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
126	B-05001178	男	9■歳	75 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。
127	B-05000876	男性	■歳	60 mg	アセトアミノフェン	尿失禁	回復	約1ヶ月前、インフルエンザAの診断で、本剤51mg、5日間投与。異常なし。 発熱、嘔吐にて来院。流行状況よりインフルエンザと診断し本剤60mg投与開始。 3日目、発熱は継続し、意識もうろう状態で意味不明言葉を発し、泣き、尿失禁する。10分後に落ち着く。 4日目、朝から本剤の服用を中止していたが、夜、睡眠中に突然起きあがり、壁をガンガン叩く等の興奮状態。10～15分で再入眠。1時間ごとに4～5回繰り返した。 翌日回復。
128	B-05018850	女性	6■歳	150 mg	インフルエンザHAワクチン 塩酸パロキセチン フルニトラゼパム 酒石酸ゾルピデム 塩酸ラロキシフェン アセトアミノフェン	劇症肝炎	不明	2日前、インフルエンザワクチン接種。 発熱、咽頭痛より、インフルエンザを疑い本剤5日間投与。 投与終了1日後、急性肝炎疑いで入院。 投与終了5日後、ベットより飛び降りたり、大声で叫ぶ。血漿交換のため転院。